



いるま

平成11年6月
定例会号 No107
1999/平成11年8月1日発行

市議会だより

■編集 議会だより編集委員会 ■発行 入間市議会 〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 ☎(042)964-1111



放置自転車のないまちづくり — 自転車が泣いています —



いるま市議会だよりは再生紙を使用しています

第2回定例会

入間市介護認定審査会条例

など22議案を審議!!

平成11年第2回定例会は、6月2日から22日までの21日間開催され、提出議案22件について審議し、すべての議案が原案のとおり可決された。

内容としては、人事案件3件、条例6件、一般議案7件、補正予算2件外4件であり、人事案件3件については、同意と決定した。

なお、定例会最終日に提出された議員提出議案の条例1件については、全員一致で可決された。

条例

【新規条例】

入間市介護認定審査会条例

介護保険法が制定され、平成12年4月1日から実施される介護保険制度に基づく審査判定業務を行うため、認定審査会を設置するものである。委員は、要介護者等の保健、医療又は福祉に関する学識経験を有する者から市長が委嘱し、医師9名、看護婦3名、歯科医、薬剤師、理学士、福祉施設長、介護福祉士、福祉社士各1名の計18名で組織される。判定委員会の数は、3組で1組5名となっており、医師3名は予備員となっている。当該条例は、審議の結果、全員一致で原案可決。

入間市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧及び意見書の提出等に関する手続きを定めるもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧及び意見書の提出等に関する手続きを定めるもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

【一部改正】

入間市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正により、個人市民税の減税として特定扶養親族に係る控除額が43万円から45万円に引上げられ、土地・住宅税制の改正として土地の譲渡益課税の見直し、居住用財産の買換えの場合の譲渡損失の繰越控除制度の創設、固定資産税の価格等に係る審査申出制度の改正として固定資産評価審査委員会の審査申出事項を価格のみにするもので、審議の結果、賛成多数で原案可決。

入間都市計画事業土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例

入間都市計画事業入間市駅周辺土地区画整理事業が終了したため改正するものであり、審議の結果、全員一致で原案可決。

入間市商工業振興条例の一部を改正する条例

特別会計小口無担保無保証人融資のあっせんに係る対象資格を緩和するものであり、審議の結果、全員一致で原案可決。

請願を提出

される方へ

市政についての希望や意見を請願書として議会に提出することができます。

請願は、憲法で保障された住民の権利であり、住民の希望を直接市政に反映させることができます。

市議会へ請願をしようとする時は、次の要領で提出してください。

(一) 邦文を用いて、件名、要旨、提出年月日、住所、氏名(法人の場合には、その名称及び代表者氏名)を記載し、請願者が押印してください。

(二) 請願書には、紹介議員1名以上の署名、または、記名押印が必要です。

(三) 内容が2件以上にわたるときは、1件ごとに提出してください。

(四) 道路・下水道等具体的な場所に関するものについては、略図等を必ずつけてください。

(五) その他不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

☎九六四 一一一一

(内線5112・5113)

議員提出議案

入間市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

議員の期末手当の支給の一層の適正化を図り、公務に對する市民の信頼を確保するため、議員が不祥事を起こした場合、手当の不支給又は一時差止め処分を行うためのものであり、審議の結果、全員一致で原案可決。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

平成11年7月30日をもって任期満了となる固定資産評価審査委員会委員に吉原欣一氏並びに西久保忠雄氏を引き続き選任したいとの議案が市長から提出され、全員一致で同意と決定した。

吉原 欣一 氏

入間市扇町屋四丁目1番43号

西久保 忠雄 氏

入間市大字野田144番地

公平委員会委員の選任に同意

平成11年6月18日をもって任期満了となる公平委員会委員に横田和雄氏を引き続き選任したいとの議案が市長から提出され、全員一致で同意と決定した。

横田 和雄 氏

入間市大字野田677番地

永年勤続議員表彰

関東・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、各議長会の表彰規定に基づく永年勤続者の表彰が行われ、本市議会より次の議員が表彰を受けました。

在職10年以上

石本 勝彦 議員

山下 修子 議員

赤久保 奉明 議員

金沢 実千代 議員

高山 振二 議員

宮岡 榮一 議員

6月定例会の一般質問は、質問者17名により6月14・15・16日の3日間行われました。

一般質問

（質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものです。）

近隣4市の合併推進について

石本 勝彦議員

質問 市がISO14001を認証取得する時期は。
市長 平成14年度に取得する努力をしたい。

質問 家庭用焼却炉の撤去状況は。事業系小型焼却炉の撤去を助成する考えは。
市長 家庭用は全体の20%、204基を回収した。事業系の撤去は自助努力という考えだ。

質問 介護保険導入について(1)延期の考えは。(2)保険料の額は。(3)ホームヘルパーを養成する考えは。
市長 (1)準備は順調であり、延期の考えはない。(2)2千600円(3)3千円ぐらい。

質問 これからの自治体は合併問題をさけて通れない。入間市、狭山市、飯能市、日高市の4市が合併すると、人口は44万4千人、面積は275km²、一般会計は1千115億円、特別会計は627億円、職員数は3千730人、議員定数は109人となり、スケールメリットを生かした行政運営が行える。4市の合併を推進する考えは。
市長 合併は住民発議がよい。時期尚早と考えている。

質問 豊岡地区のシネマセンター建設で交通対策が必要では。さんかくはしの利用状況が悪いことについて。
市長 対策は考えていく。南地区にビルが完成すると利用が増加すると考えている。

旧林川河川敷・下水道整備

手塚 良雄議員

質問 旧林川河川敷(東藤沢地域内)を緑化して、遊歩道など地域住民の憩いの場と



入間グリーンロッジ



林川河川敷

して整備すべきである。整備計画は。

市長 下水道の整備が完了したことから、監理課及びみどりの課を整備の窓口とし、本年7月には地元自治会と話し合いをして、要望・意見等を集約したい。整備計画については、平成12年度に設計、平成13年度から工事を実施する。

質問 大雨に対する河川改修等の対応策は。

市長 部分改良だけの改修は困難である。従って下流域から改善しないと抜本的改修にはならない。県に対しても大森調整池の変更工事又は不老川本線の改良を要請しているが、その間にも大雨が予想されるので事前対策としては、土のう等により対応する。

質問 下水道の整備は、快適な文化生活を営むためにもまた、環境面からも重要な課題である。特に市街化調整区域内において市街化区域内に隣接し、しかも枝管に隣接する区域は取付管のみ施行すれば生放流できるが、その整備計画と取り組みは。また、調整区域内全体の整備計画は。

市長 市街化区域に隣接する市街化調整区域については、基本的に各地区に不公平が生じないよう必要度、緊急度、負担金の在り方等を検討し、平成12年度を目前に下水道審議会に諮り、具体的に進めていきたい。調整区域全体の計画については、市街化区域内の整備が平成18年度までかかるものと予測をしております時間を要する。

介護保険充実・駐輪場の労働環境

金子 健一議員

質問 介護保険実施まで10ヶ月、国の財政削減を優先させた保険化の矛盾が吹き出している。65歳以上の保険料は。

市長 2千900円程度で運営。質問 保険料と利用料は低所得者にとって過酷な負担。減免は不可欠ではないか。

市長 負担できない人には



仏子駅駐輪場

当然市が対応する。国にも財源措置を要請している。

質問 ホームヘルパーは目標62人に対し、見通しは常勤換算で27人。少ないのでは。

市長 民間に依存する。質問 介護保険対象外のサービスは継続すべきであるが。

市長 おむつ支給、寝具乾燥、配食サービスなど、できるだけ継続していきたい。

質問 介護保険事業への営利法人参入の予定は。

市長 ホームヘルパーの供給が主な参入分野。営利と非営利の区別はつけられない。農協が非営利とは言いがたい。

質問 そんなことはない。農協や生協などは非営利の法人として社会的に認められている。株式会社など利潤追求を目的とした営利法人は参入

させるべきではない。在宅介護支援センターの委託先に営利法人は含まれているか。

市長 いない。社会福祉法人と医療法人に委託する。

質問 市がシルバー人材センターに委託している市営駐輪場が冬は非常に寒い。市費で整理員が雨風をしのげる休憩所を設置すべきでは。

市民部長 いずれは考えなければと思っている。センターとも調整をして、よりよい環境で働けるようにしたい。

周辺事態法等(戦争法)で要請あれば市職員を動員

石田 芳夫議員

質問 周辺事態法等(戦争法)のヨーロッパ版が、NATO軍によるユーゴへの空爆だ。78日間の空爆は、2千人以上の死者、6千人以上の負傷者、鉄道・学校・発電所までも攻撃され、生活基盤が壊滅された。NATOの軍事方針は、加盟国が武力攻撃されなくても、民族・宗教・人権的な抗争に国連を無視し、攻撃するものだ。空爆への見解は。

市長 NATOによる空爆は望むものではないが、止むを得なかった処置だ。

質問 戦争法の具体化として7月中旬に手引書づくりまで進んでいる。すでに沖繩の米海兵隊が北海道で実弾演習した時に根室市は助役を責任者に「本部」を設置し、警備などに2年間で市の職員を延べ145人も動員している。入間市に要請があった場合に職員を動員するのか。

市長 いろいろなケースが想定されるが、行政に支障のない範囲で職員の動員も止むを得ない。

質問 運動公園テニスコートの延べ利用者は6万人以上あり、最も利用度の高い施設だ。桜植樹部分を活用すれば暑い日差しよけの休憩所になり、通路確保で試合中断を解消できる。活用の具体化をすべき。



入間市運動公園テニスコート

生涯学習部長 いくつかの問題はあるが、効果的であり実現に向けて対応する。

質問 東藤沢いなげや前の道路改良の見通しは。

建設部長 一部協力が得られた。今年度中、解決に努力する。

質問 藤沢橋付近の県道改良で右折帯の確保を。
建設部長 確保で県に要請

子ども達の内発性を引き出す教育

堤 利夫議員

質問 知識や学力を詰め込み、そうした尺度からのみ子どもたちを評価し、判断してきたツケが、今日の教育の問題の底流にある。自ら何々をしたいという「内的な発露」

(内発性)を促すため教育現場に豊富な選択肢を用意する必要はある。さらに、子どもに真正面から向き合い、ともに価値観を創造し共有していくことが大事である。また、家庭における教育力の衰退も深刻な状況である。今後、新教育長として諸課題に取り組む姿勢は。

教育長 豊かな人間性の育成を基本理念とし、生きる力を備え誇りと自信を持ち心身ともに健全な成長を促す。具



体的には狭山茶とふれあう教育の推進、茶摘み体験、茶席体験を通じ郷土に誇りと愛着をもてる心の教育を進める。今日の家庭における教育の問題は座視できない状況にあり、幼・小・中・保護者別のリーフレットを配布したり、家庭教育学級、育成会組織の機能が充実させるため教育委員会が全面的に後押しをする。
質問 道交法の改正により来春からチャイルドシートの着用が義務化される。購入費補助制度の創設を。
市民部長 運転者の厳守義務であることから購入補助制度は困難である。リサイクルについては、交通関係団体と協議し市民に喜ばれる対応をする。
質問 循環バスのバス停に

子育てしやすい環境づくりを！

養口 順子議員

質問 少子化が急スピードで進む現在、子どもを安心して産み育てられる環境整備を図っていくためには、0歳児から就学前児童までの子育て支援総合対策を考えていくべきではないか。また、より実効性の高い「エンゼルプラン」の策定をすべきと思うが。

市長 市民ニーズにあった子育て支援総合対策を全庁あげて取り組む。また、「エンゼルプラン」も平成12年度策定に向けしっかり取り組んでいく。

質問 子育ての施策を推進するには家庭、地域社会の総合的な対策が必要である。今後(仮称)「子育て支援対策審議会」を設置すべきと思うが。

市長 現在の保育所運営協議会を発展的に改組拡充し、(仮称)「児童福祉審議会」を設置し機能させていく。

質問 現在、未成年者の喫煙が増加し低年齢化してきている。健康被害や非行防止のためにも喫煙防止に対する指



導を強化すべきと思うが、当市の小・中学校の現状と対策は。

教育長 平成10年の市内の中学校での発生件数は、前年より33%増の148件であり、小学校においても発生している。喫煙防止教育を全校あげて保健授業等を通し、充分指導していく。

質問 ごみ減量推進のための「エコショップ制度」の導入を平成8年6月議会で提言したがその後の進捗状況は。

環境経済部長 ごみの減量化、資源化に向け消費者、事業者の声を聞き魅力ある制度としていきたい。また、消費者、事業者、行政へのメリツトに留意し、環境経済部あげて取り組む。

武蔵藤沢駅南側の踏切の拡幅を

金沢 実千代議員

質問 武蔵藤沢駅南側の踏切は5.5mであり狭隘のため、事故の多い箇所である。西武鉄道側に踏切の拡幅を要請し、歩道部分の設置をすべきである。

市長 西武鉄道では、踏切の拡幅は、両側の道路が同じ幅員となった時に協議に応じるとのことである。今後、両側の道路改良も含め協議をする。

質問 東藤沢地域の側溝の蓋掛けを要望する声が多い。年次計画で設置すべき。

市長 電柱移設の検討も含め設置の方向で住民と相談。

質問 いなげや東藤沢店前の道路整備の關係は昨年6月議会で提言、S氏の協力を頂きたい。重要書を提出し半分の舗装は実現できたが、未整備のほこり対策と全面舗装に向け積極的に解決に向け話し合いを。

市長 何回でも誠意を持ち協議し、年度内解決をめざす。

質問 国保被保険者は、死亡の際10万円の葬祭費が口座に振り込みとなるが、窓口での現金支給を望む声が多い。
市民部長 窓口で施主の確

更に「谷田の泉」の 公有地化を！

山下 修子議員



いなげや東藤沢店前

認をし、用紙で振込・現金の
選択をして頂き対応する。
質問 新体操サークル入間
は、専門の監督に恵まれ保護
者協力のもと10年前から関東
・全国大会へ出場し活躍して
いるが、マットがないため身
体に痕がで、試合では床と
マットの感触の違いから苦慮
している。高齢者にも多目的
に利用できる新体操用マット
を設置すべきである。

生涯学習部長 数々の優秀
な成果は承知している。危険
防止も含め、スポーツ総合セ
ンターに新体操用マットを購
入し、備品の充実をしたい。



質問 湧水「谷田の泉」は、
平成6年度景観50選に指定さ
れ、市として保全していく方
向だが、自然現象とみられる
湧水も成り行き任せでは将来
的に果してどうかという不安
がある。崖線緑地と墓地周辺
畑やグラウンドなどを含めた
一帯の開発行為には注意を払
わなければならず、水の道が
どの方向からのものか正確な
調査も必要だ。子どもたちに
科学や歴史・私たちの暮らし
を伝える生きた教材としての
面もある。土地所有者の意向
調査をし、さらに公有地化を
図り、自然公園化を進めては
どうか。

市長 平成8年にも区長会
で質問があった。現在1千313
㎡が公有地だがさらに検討す
る。

質問 国に先駆けて市の情
報公開制度・個人情報保護制
度がスタートして3年になる
が、(1)制度の運用状況のま

めを市政情報コーナーで見
ると制度の目的・基本原則・情
報分野別の請求件数・各委員
の所属団体役職等の記入など
を加え、一層市民にとつて分
かりやすい制度とする必要が
あると思う。平成11年度の冊
子から改善をしてほしい。(2)
不服申し立てから審議会答申
に至る期間は、市民にとつて
できるだけ短い方がよいが現
状はどうか。(3)国会審議中の
住民基本台帳法改正も市の個
人情報保護条例の第12条(電
子計算組織の結合)の関係で
問題だ。

市長 (1)ご指摘のうち可能
な点については取り組みたい。
(2)期間はおおむね妥当と思
うができるだけ短縮する。(3)オ
ンライン結合は避けることが
できないが危険性は排除する。



谷田の泉

「普通選挙法」と 「治安維持法」

宮岡 治郎議員

質問 入間市地域出身の元
衆議院議員の粕谷義三氏が議
長在任中の一九二五年の第50
回帝国議会で「普通選挙法」
と「治安維持法」が制定され
た。これら、日本の運命を決
めた2つの法制定の過程の模
様を議事録を中心に展示すべ
きだ。粕谷議長は困難な「普
通選挙法」成立に貢献した。
また、「治安維持法」は、圧
倒的多数の賛成で成立したが、
粕谷議長は、少数の反対の議
員にも十分発言させている。

戦後の義務教育では、両法の
成立をワンセットで教育する
し、多くの教訓を含んでいる。
「治安維持法」によって、衆
議院議員山本宣治氏、作家小
林多喜二氏、宗教家牧口常三
郎氏、哲学者三木清氏や多く
の人々が犠牲となった。展示
に予算は、さほどかからない
し、「日本国憲法」の意義を
理解する助けにもなる。また、
「普通選挙」を推進し、「治
安維持法」に反対し、前豊岡
町長繁田武平氏の招きで「豊
岡大学」で誠意と勇気をもつ
て講演した政治家、弔堂・尾
崎行雄氏の展示も併設すれば、

青少年に有益な価値ある展示
となると考えるが。

教育長 博物館では、開館
当初より粕谷義三氏について
常設展示の「人間の人物」の
中で紹介。その後充実を図る。
粕谷家より寄贈の資料整理が
完了した分の文書目録を作成。
ニューズアリットで知らせる。
指摘の点を十分踏まえ、議長
在任中の議会運営、その社会
的背景も含め、調査研究する。
郷土の誇れる先人として、特
別展等に反映するよう努める。

入間市、狭山市合併 有料駐輪場

齋藤 武久議員

質問 入間市の人口14万6
千200人、狭山市の人口16万1
千296人、議員定数は入間市28
人、狭山市27人である。両市
は河川、道路が横断している
ものが多く、地場産業につ
いてもお茶・畜産とともに交流
が活発に図られている。入間
市と狭山市が合併すれば将来
的に考えても財政面でよくな
る。

市長 狭山市との合併問題
だが、入間市と狭山市は航空
自衛隊をみんなで隣り合っ
ており、不老川、霞川、入間川
など自然においても深いつな
がりをもっている。入間、狭

山、所沢、飯能の4市で埼玉県西部地域まちづくり協議会を設置し、現在、積極的な広域行政に取り組んでいる。国では第3次ともいうべき合併促進策を図っている。地方分権の時代に各自自治体の合併が推進されている問題に対処しなければならぬ。

質問 武蔵藤沢駅周辺に市営の無料駐輪場が2カ所あるが、放置自転車が見受けられる状況である。民間有料駐輪場を設置する場合、設置運営情報を提供できないか。

市民部長 駅周辺の放置自転車の対策には頭を悩ましている。民間有料駐輪場ができれば放置自転車の対策として市側は助かる。情報提供は協力する。

質問 第二千歳会のゲート



武蔵藤沢駅前

ボール場の用地が見つかった場合、ゲートボール場を設置できないか。

市長 用地の確保が図っていただけのならば、積極的に対応し、地域の老人会の要望に応える。

圏央道にサービスエリアの設置を

金子 俊雄議員

質問 霞川の環境は今後、下水道の整備に伴って、まず下水量の減少が予想される。堤防周辺等に保水力をもった親水公園、遊歩道等の設置を。

市長 地域住民の協力と合わせて霞川清流プランを計画的に進め、県と調整しながら増設に努力していく。また、加治丘陵も保水力の面では役割が大きい。今後、保全と利用に積極的に取り組んでいく。道路築造、住宅開発等においても雨水の浸透管、枡等の設置を進めて行きたい。

質問 平成12年度末に開通予定の圏央道(鶴ヶ島〜八王子間)に地域産業の発展PRのためにサービスエリアを設置できないか。また、国・県への要望の経緯は。

市長 高規格自動車専用道路であるため、サービスエリアの設置はむずかしい。パー



圏央道

キングエリアの設置はすでに要請したが、今後、県とともに建設省、道路公団へ積極的に要請を続けていく考えである。

質問 シルバー及び福祉タクシー券の使用は、埼玉県旅客協会へ加入している会社、個人タクシー組合に加入している個人に限られているが、協会及び組合加入にかかわらず利用することはできないか。

健康福祉部長 現在の要綱では無理。市として今後利用者のニーズに応え、実現できるように最大限努力をする。

質問 平成12年度から節目支給となる敬老祝金の余剰財源と活用は。

健康福祉部長 現在の試算では約3千200万円となる。高齢者福祉サービスの充実を図

り、活用をしていく。

地域防災計画・余裕教室の活用

田中 智義議員

質問 国の防災基本計画は、阪神淡路大震災の後、抜本的改正がされたが、人間市地域防災計画は平成2年につくられたままである。地域防災計画は予防、応急対策、復旧の3つの計画から成り立ち、被害想定に基づく綿密な計画のもと行動計画を立てることが必要である。昨年、埼玉県において4種類の地震についての被害想定が出され、それらを参考に策定中であるが、基本方針、進捗状況、完成の時期は。

市長 阪神淡路大震災の教訓を生かし、初動対応を重視する。進捗状況は、概ね65%であり、平成12年度中に完成。

質問 少子・高齢化社会に突入し、全国の小・中学校の普通教室の11%にあたる5万7千教室が余裕教室となっている。人間市の状況は。

教育長 小学校においては、昭和57年度(ピーク時)1万3千583人から平成11年度では9千356人へ減少、学級数は平成3年度348クラスから平成11年度302クラスに減少している。



質問 文部省では余裕教室活用指針を策定し、学校教育充実のために施設や学童保育施設など学校以外の施設への転用を促している。当市において、財政状況の厳しい中、余裕教室の積極的な活用方法を検討すべきと思うが。

教育長 コンピュータ教室、図書室、茶室などに活用しているが、社会教育施設、福祉施設として有効活用を図ることは重要であり、余裕教室検討委員会を本年度設置したので、今後十分検討を重ねていく。



中国、奉化市との 友好都市提携へ

近藤 常雄議員

質問 平成8年に民間レベルで入間市・奉化市友好交流協会が発足し、茶業会、繊維協会、議員有志が5回訪問した。また、奉化市から行政関係者、農業視察団一行が2度来訪するなど両市の交流が着実に進展している。中国から

仏教や様々な文化伝来、また、主産業の茶場は、7kmにおよぶ広大なものであり、入間市の地場産業であるお茶、繊維業など類似も多いことから、さらなる友好親善の推進を。

(1)市長自ら奉化市に訪問する考えは。(2)友好都市としての提携調印は。



市長 (1)奉化市を訪問するよう要請されている。友好親善の推進と現況の勉強のために訪問したい。(2)7月中にも担当窓口を決め、平成11年度内に友好都市の提携調印をしたい。

質問 子ども達の体力、運動能力は、著しく低下傾向にある。心身とも安定した人間形成のために中学生の部活動は重要である。今後、教職員の高齢化、週5日制が実施されると、土・日曜日の部活動のあり方が危惧され、その充実に必要とされるが。(1)検討委員会での内容と現況。(2)廃部での個人参加、自校でチーム編成の不可能な学校での生徒への対応は。

教育長 (1)部活動の充実を図るため、部活動指導員派遣事務取扱要綱を市独自で制定した。選考方法は、実技、指導経験者、校長や顧問と連携できる人を公募する。現在、33名登録者があり、23名が8校で指導している。謝礼は月2千円。(2)個人種目の参加は可能。チーム編成ができず複数校との合同部活動は問題が多く今後の課題。

扇町屋通りの 全面舗装を

西沢 実議員

質問 基幹型在宅介護支援センター(黒須地区)の計画、進捗状況について、(1)職員配置。(2)運営主体。(3)医療機関の支援体制。

健康福祉部長 黒須公民館敷地内に10月を目標に在宅介護支援センター及びヘルパーステーションを設置する。(1)2名の常勤職員。(2)入間市社会福祉協議会に委託。(3)市内医療機関と24時間体制を協議し、機能が果たせるよう社会福祉協議会を指導していく。

質問 介護保険制度の施行後、要求が増えると思うが、たつた2名で基幹型センター



扇町屋通り

の運営ができるのか。健康福祉部長 専門家が運営するのでできると思う。

質問 公立保育所の完全給食が3施設で始まり、民間保育園と主食費の公・民の格差が生まれている。格差解消は。

健康福祉部長 主食費の援助については、総合的な民間保育所への全体補助を含め、前向きに検討していく。

質問 扇町屋通りは、14年間全面舗装の修理がされず、田島屋米店から国道16号までは特にひどい路面状態となっている全面舗装はできないか。建設部長 傷んでいるのは承知している。一部補修で対応。

質問 環境汚染が大問題になっている。公共施設駐車場に限らず、民間駐車場の「前向き駐車」「アイドリングストップ」を市として広報などで市民に働きかけるべきでは。環境経済部長 2kmを超えると新規のものについては、事前協議の中で看板設置を要請する。その他は「広報いるま」などを通じ働きかける。

学校の老朽化対策は 最優先課題に

対馬 ヨシ江議員

質問 小学校・中学校の校舎や屋内運動場等の老朽化が進み、大規模改造の時期だ。屋内運動場の天井には大きな穴があき雨漏り、窓が開かないところもある。校庭のスプリンクラー、給食室の老朽化対策、トイレの改修も必要。大規模改造工事は、毎年のように行ってきたが、現在では3年に1回となっている。学校施設は子どもたちにとって安全でなければならぬ。同時に地域住民の避難場所でもある。老朽化対策は、最優先すべき。現状及び認識は。また、国の補助対象が築15年から築20年となった。改善を求め国に要請を。

市長 89年から10年間で校舎10校、屋内運動場は13校改修工事を計画的に進めてきた。未改修は小・中学校の校舎17



西武小学校

棟、屋内運動場は12棟ある。特に屋内運動場の老朽化は激しい。危険箇所は排除するという大前提の考えで進める。また、補助額の充実については市長会議等で要請していく。

駒井 勲議員

「まちづくり」について

質問 中心市街地活性化法による「まちづくり」について、現在、経済成長率の鈍化、人口の減少を背景として、これまでどのような人口増加と経

済の拡大を前提とした都市政策は転換期を迎え、成熟社会に向けて都市の活力を維持するため、既成市街地の再構築を進めるべき時期がきている。各都市が経済の自立と安定した長期展望を基本とした「まちづくり」が重要課題となり、効果的、効率的な施策の実施が求められている。環境負荷の少ない都市づくりであり、阪神淡路大震災の教訓を生かした安全な都市であり、高齢者、障害者が自由に安心して活動できる環境整備された都市である。市長の考えは。

市長 予算も必要とするため大規模改造工事の時に実施。○五年の総合振興計画、後期計画案では西武小学校の大規模改造工事、藤沢小学校、藤沢中学校、西武中学校の屋内運動場等だが、対策は万全が。建て替えも含めた全体計画の策定を。

市長 万全であるとは思わないが財政、他の事業等との関連があるので前後期の五ヶ年計画で進める。また、学校等の要望は、必要が生じれば対応。

市長 中心市街地活性化法は、空洞化した市街地の再活性化をする。それは商店街の振興の視点のみならず、市街地全体の「まちづくり」を視野に入れながら市町村が計画を策定する。その策定の手法にあたり、商店街づくりについては商工会の意向を確認しながら計画を樹立するというものだが、決してバラ色のもではない。川越市は長期的視点に立って取り組んでおり、当市も基本計画はつくらなければと思っている。

市長 中心市街地活性化の必要性とこれからの都市とは都市を「ふるさと」とする人の増加。良好な都市環境。安全、安心に対する関心度の高まり。年齢、性別を問わず、あらゆる人の社会参加の増進。働くだけでなく遊べる、学べる街。要するに質の充実である。開発による都市の拡大より今ある街をいかに高質化するかが重要であり、市民に求

質問 中心市街地活性化の必要性とこれからの都市とは都市を「ふるさと」とする人の増加。良好な都市環境。安全、安心に対する関心度の高まり。年齢、性別を問わず、あらゆる人の社会参加の増進。働くだけでなく遊べる、学べる街。要するに質の充実である。開発による都市の拡大より今ある街をいかに高質化するかが重要であり、市民に求



質問 中心市街地活性化の必要性とこれからの都市とは都市を「ふるさと」とする人の増加。良好な都市環境。安全、安心に対する関心度の高まり。年齢、性別を問わず、あらゆる人の社会参加の増進。働くだけでなく遊べる、学べる街。要するに質の充実である。開発による都市の拡大より今ある街をいかに高質化するかが重要であり、市民に求

に効果的な手法であると思うが。

市長 現在も政策評価を行っているが、今後も市報等で公表していく。

豊岡、扇町屋地区の活性化!

鹿倉 貞二議員

められている。地域、都市が自ら将来像を考えることが地方分権の第一歩でもある。入間市駅北口、駅周辺豊岡第一区画整理区域、再開発事業北地区、南地区、そして扇町屋商店街を一体と考えた中心市街地活性化が必要である。まず、基本計画構想を考えるべきと思うが。

市長 行政指導で作成することは当然だが、そのプロセスとして地域住民、商店街と協議を重ね計画を作成する。

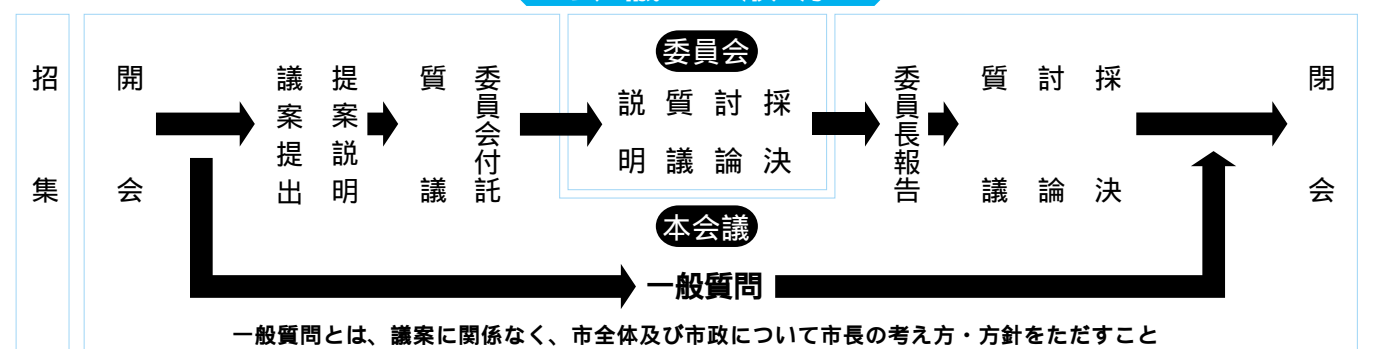
質問 障害をもつ子どもが地域の小学校に入学する時、様々な困難があるという話がよく聞く。また、入学してからも進級前には教育相談があり、親は圧力を感じ、悩むという相談を受けるが、現状はどうなのか。教育を受ける権利とは、教育を選ぶ権利でもある。この現状がある限り、親の教育行政に対する不信は消えることはない。

市長 行政指導で作成することは当然だが、そのプロセスとして地域住民、商店街と協議を重ね計画を作成する。

質問 障害をもつ子どもが地域の小学校に入学する時、様々な困難があるという話がよく聞く。また、入学してからも進級前には教育相談があり、親は圧力を感じ、悩むという相談を受けるが、現状はどうなのか。教育を受ける権利とは、教育を選ぶ権利でもある。この現状がある限り、親の教育行政に対する不信は消えることはない。

教育長 その子どもにとって、どの場が一番相応しい教育の場なのか、保護者と相談をして最終的には保護者が決めることである。就学時検診、また、進級前の相談は、教育の場を決定する場ではない。

会議の順序



市民

の

声

埼玉県入間郡

武蔵町扇町屋そして

豊岡 萩野晃治(建築業)



埼玉県入間郡武蔵町扇町屋、私の子供の頃の番地です。その頃、この

の辺は桑畑が多く、近くの神社は樹木が生い茂り夏ともなると蟬の音が響き、私達は穴蟬を捕ったり、三角野球をしたり暗くなるまで遊んだものでした。最近ではこの辺もデパートや大型ショッピングセンターができ、道路や公園も整備され我々にとってはとても便利な街に変わりました。しかし、昔の蟬の音の響きや子供たちの遊び声をあまり聞かなくなりました。時代が変わったと言ってしまうまでもありますが、

私達の大切な忘れもの

東町 浦邊節三郎(無職)



あの頃、私達が原っぱや神社を駆け回って遊んだり、体験したことを今の子供たちに伝えてあげられないのは大変残念なことです。便利さの代償と言っては、大げさかもしれませんが、子供たちは昔も今も変わらない気がします。その子供たちにほんの少し手助けをする番が私達に回ってきた気がします。

宮沢賢治という野の風を一杯受けて土を耕し優しい童話を書き続けた人と言うイメージが強い。そんな彼に意外なもう一つの顔がある。予言者と呼ばれるでもいいと思う。「植物医師」という植物を専門に診る医者

三三情報

市のOA化推進について

自治体のOA機器の活用は、民間に比べて遅れていると言われているようですが、入間市の状況について調べて見ました。市のホームページは平成10年4月1日に開設、今年の6月1日で1万8千881件のアクセスがありました。100%市職員の手作りで、月2回の定期のほか随時更新を行うすばらしい運営をしています。庁内イントラネットの活用も進ん

でおり、具体例としては、庁内ホームページや会議室予約システム、議会本会議の会議録検索システム等の各種システムを運用しています。今後の展開は、公共施設予約システムの導入、中学校にインターネットの接続、図書予約受付サービス、地理情報の提供等が考えられています。市議会だよりについては、8月1日発行のNo.107号(今月号)から市のホームページに掲載される予定です。OA機器の活用により情報サービスの向上やペーパーレ

が登場する作品がある。そして、今は樹木医という有資格職業が立派に存在するようになった。童話「セロ弾きのゴーシュ」には音楽で病気を治す人物が登場する。音楽療法は最新の医療技術の一つになりつつある。中でも「法印の孫娘」の詩の中で一九五〇年から二〇〇〇年への間と時期を特定して日本農業が青白く蝕まれてゆくと書いている。

達人間の生命の根源である「土の若返り法」に取組むべきことを忘れていたのではないのでしょうか。

編集後記

今回号から議会だより編集委員会のメンバーに異動があり、新たな出発となりました。議会開会とともに梅雨入りとなりましたが、なぜか連日猛暑となり、省エネで冷房の設定温度が上げられたこともあって、議場は上着ナシが許されました。しかし、窓のない議場は室温がウナギのぼり、暑さに閉口という方もおりました。今議会は、めずらしいことに一般会計の補正が1件もなし、本予算がうまく組め

「新時代の農村を興す」と言う美名の裏でどうしようもない膿が出ている。酸性雨、ダイオキシンの、環境ホルモン、残留農薬被害等に人は土に生まれ土に還ると昔の人が言っていた永遠の真実をこの軽佻浮薄の時代の中で政治が行政が私

ス化の推進がますます期待されていくでしょう。



たのか、それとも不況の影響が、緊縮財政の現れか議案の少ない議会でした。

訂正

前号(No.106号)の人事案件のうち教育委員会委員の「石井宣雄氏」とあるのは、石田宣雄氏の誤りでした。おわびして訂正いたします。

議会だより編集委員会

- | | |
|-------|-------|
| 鹿倉 貞二 | 篠口 順子 |
| 石本 勝彦 | 西沢 実 |
| 田中 智義 | 宮岡 治郎 |
| 駒井 勲 | 金子 俊雄 |
| 久保 政善 | 宮岡 榮一 |
| は委員長 | は副委員長 |